

課 題 コンテナを用いた越前水仙切花栽培方法の検討

担 当 者 中村 麻由美

目 的 市場の需要に対し安定出荷できる促成・施設栽培を推進するため、冬季の無加温ハウスを用いたコンテナ栽培での切花生産拡大を目指す。
コンテナ栽培の用土の量や肥料の種類を検討することで、経費削減を目指す。

供 試 品 種 越前水仙（ニホンスイセン）

試験区構成 試験1区：下土（山砂）2.5cm 覆土（籾殻）17.5cm
試験2区：下土（山砂）5cm 覆土（籾殻）15cm

施肥区A：被覆複合エコロング 413(100日) 17g/箱
成分量 N 2.3-P 1.9-K 2.2 g/箱

施肥区B：粒状ケイカル 25g/箱
粒状ようりん 10g/箱
有機ブリケット特 S90 20g/箱
くみあい苦土ほう素入り複合硝加磷安 604 7.5g/箱
粒状マグフミン 25g/箱
粒状草木加里 10g/箱
成分量 N 2.4-P 4.2-K 5.1 g/箱

球根の下に入れる 用土の厚さ		施肥区	
		A	B
試験1区	2.5cm	1-1区	1-2区
試験2区	5cm	2-1区	2-2区（慣行区）

区制及び株数 1区制1区各2コンテナ

耕種概要 栽培条件 施設
定植 10月22日（コンテナ栽培）
球根 35~45g
球根処理 高温処理（30℃）6月29日~7月12日（2週間）
エチレン処理（100ppm）7月13日~15日（3日）
植栽密度 54球/コンテナ（内径56×37.5×20cm）
縦6球×横9球定植（球根間1cm）
330個コンテナ/a 18,000球/a
施肥量 試験区の通り
収穫 12月8日~令和3年2月5日

結果及び考察

- 1 試験に使用する球根として見かけ上1芽で単球の球根を選び、コンテナに10月20日に定植した。12月8日より翌2月5日まで収穫を行い、栽培期間は109日間であった。
- 2 1コンテナ辺りに用いた肥料の価格は、施肥区A：被覆複合エコロング413(100日)は6円、施肥区B：肥料混合は10円であった。
- 3 収穫時期はJA福井県越前水仙出荷基準に基づいて行い、ハカマ、葉長(草丈)、花首長、葉数、花数の測定を行った。切花の調査結果を表1に示した。表3 JA福井県越前水仙出荷規格に基づいて選別した結果を表2、図1に示した。
- 4 枚葉率は、試験区1-2が77.1%と最も高かった。花茎率は、試験区2-2が94.4%と最も高かった。

以上の結果より、施肥区A：被覆複合エコロング413(100日)の方が肥料価格は安いものの、葉の枚数に関しては、施肥区Bが良いことから、複合肥料だけではリン酸やカリが足りず補う必要があると思われる。そのため、被覆複合エコロング413(100日)のみでのコンテナ栽培は向かず、今後さらに検討する必要がある。

4枚葉率は試験区1-2、花茎率は試験区が高かったことから、球根の下に入れる用土の厚さが多いほうが、より根がはり生育が良かったと考えられる。コンテナの移動の労力を考えても、下土の量は5cmが妥当だと言えた。

今回の施設栽培試験では、露地栽培と比較し、灌水や温度調節によって背丈や開花時期を調整することが容易であることから、今後平地でのコンテナによる切花栽培により進めてきたい。一方で、今回出荷できないほどではなかったが茎や葉の柔らかく折れそうであった。このことから、今後は、肥料など栽培費用の検討を行いながら、葉や茎を固くする肥料設計を目指す。

表1 調査結果

試験区	平均					4枚葉率 (%)	花茎率 (%)
	葉数 (枚)	葉長 (cm)	花首長 (cm)	ハカマ長 (cm)	花数 (個)		
1-1	3.4	56.1	47.5	6.5	5.9	54.6	89.8
1-2	3.8	55.9	46.4	7.1	5.9	77.1	88.9
2-1	3.5	60.2	51.5	7.2	5.4	57.4	87.0
2-2	3.8	55.6	45.5	7.1	5.4	69.6	94.4

表2 越前水仙規格別内訳

試験区	え-4	え	ち-4	ち	ぜ	ん	水	仙	規格外
1-1	32	17	15	14	8	1	3	0	7
1-2	43	6	18	13	11	4	0	0	1
2-1	18	13	34	19	2	1	2	0	5
2-2	38	16	13	9	13	7	1	0	5

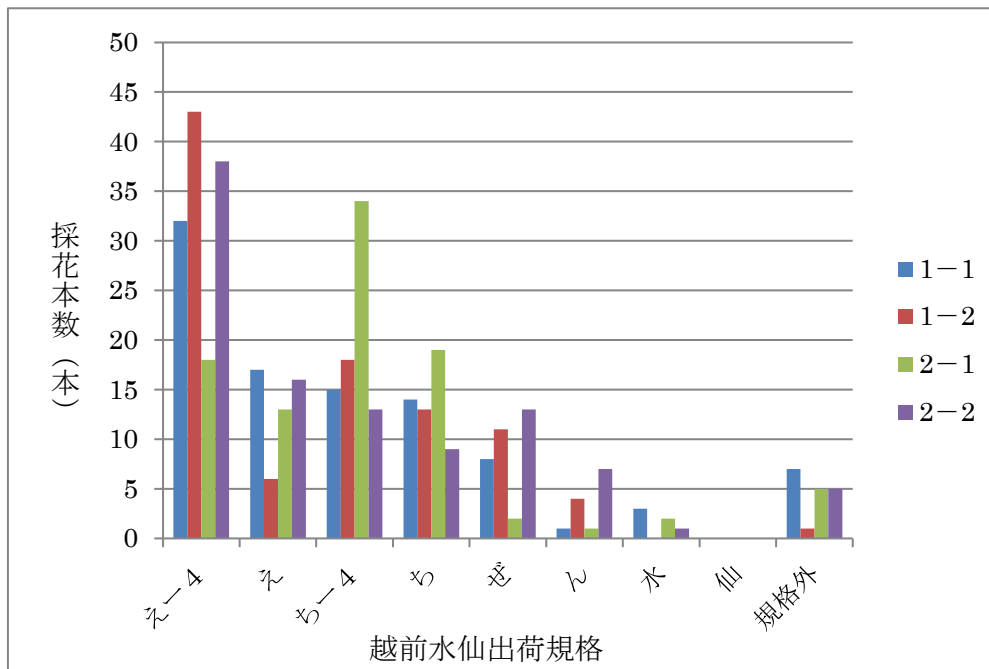


図1 越前水仙規格別内訳

表3 越前水仙の出荷規格表

規格名	花首長	備考
え-4	40~50cm	4枚葉 (はかまの長さは十分に確保する)
え	40~50cm	3枚葉
ち-4	50cm以上	4枚葉 (はかまの長さは十分に確保する)
ち	50cm以上	3枚葉
ぜ	35~40cm	3枚葉
ん	30~35cm	3枚葉
水	40cm以上	赤葉、首長
仙	40cm以下	赤葉、首長

※花は、3輪以上付いたもの

※葉の長さとは花首長は調和のとれたものとする

本試験では、(葉長)-(花首長) = 7~10cmを調和のとれたものとする

※葉先は正常なものとする

※はかまは4cm以上とする